

日報データ自動取得システム 簡易マニュアル

【機能】

1. 近畿レイنزの日報検索データを自動取得し、CSVに出力する機能
2. 日報検索結果一覧をそのままCSVに出力する機能
3. 日報検索結果一覧を旧近畿レイنزフォーマットでCSVに出力する機能
4. 近畿レイنزシステムの日報設定を取得する機能
5. 設定されている日報を「全指定」または「個別指定」して取得できる機能
6. 実行ログを記録する機能
7. 本システムは、2011年8月18日以降の近畿レイنزシステムに対応しています。

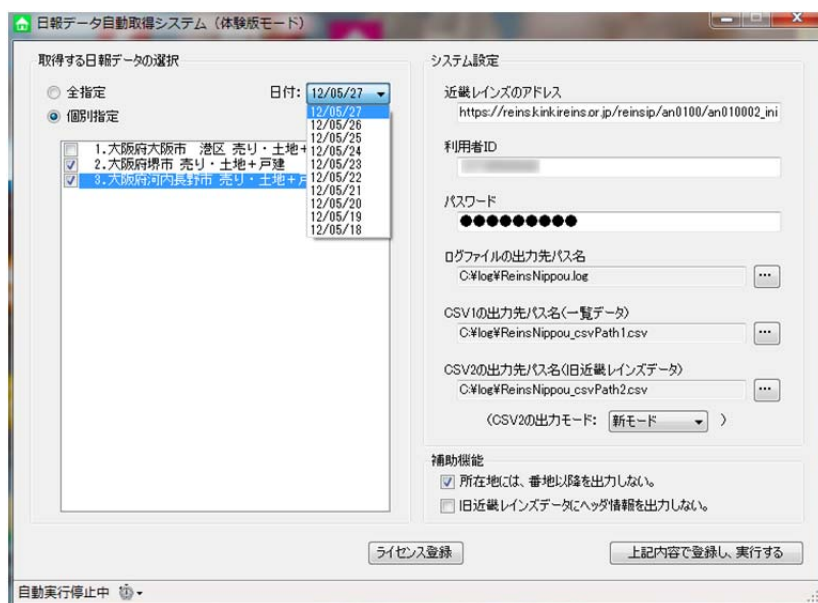
【初期起動画面】

これらのボタンをクリックすると、パス名の設定を行うためのファイル保存画面が表示されますので、任意のファイル名を付けて保存ボタンをクリックしてください。



システム設定

近畿レイنزのアドレス	近畿レイنزのログイン画面のアドレスを入力します。(デフォルトでOK)
利用者ID	近畿レイنزの利用者IDを入力します。(入力必須)
パスワード	近畿レイنزのパスワードを入力します。(入力必須)
ログファイルの出力先パス名	ログファイルの出力先をパス名で入力します。(入力必須)
CSV1の出力先パス名	取得した日報データの出力先をパス名で入力します。(入力必須)
CSV2の出力先パス名	日報データを旧近畿レイنزフォーマットで出力する場合のパス名を入力します。(入力必須)
CSV2の出力モード	新モード／従来モードの中から選択できます。
ライセンス登録	ライセンス登録を行うときにクリックします。

【初期登録後の通常起動画面】



1) 取得する日報データの選択

全指定	設定されている日報をすべて選択します。
個別指定	設定されている日報の中から取得する日報を選択します。
	自動実行機能の「使用する／使用しない」を設定します。 ※設定の反映は次回起動時からとなります。 
日付	日報の日付を選択します。最初は、前日の日付が表示されています。過去の日報を出力したい場合は、日付を変更します。

2) システム設定

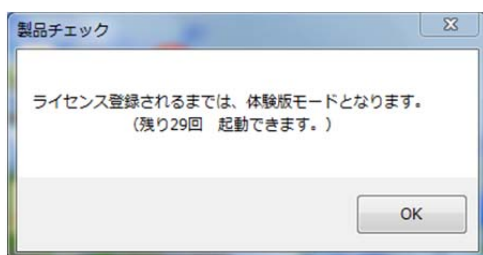
【初期設定画面】の項を参照してください。

3) 補助機能

所在地には、番地以降を出力しない	チェックを付けると、CSV1・CSV2データの所在地に番地以降が出力されません。
旧近畿レインズデータにヘッダ情報を出力しない	チェックを付けると、CSV2のヘッダ情報が出力されません。

【留意事項】

- 本システムをご使用頂ける方は、近畿レインズ IP 型システムの会員であることが前提です。（※利用者 ID とパスワードが必要となります。）
- 本システムは、近畿レインズ IP 型システムの「会員設定 — 日報設定」に日報コードが1つ以上設定済みであることが前提となっています。（※日報設定が未だの場合は、先に日報設定を行ってから本ソフトを起動して下さい。）
- 日報設定方法については、近畿レインズ IP 型システムのマニュアル等でご確認下さい。
- ライセンス登録を行っていない場合は、体験版モードとなります。タイトルバーにも「体験版モード」と表示されます。 また、起動時に以下の画面が毎回表示されます。



- ライセンス登録を行うには、「ライセンス登録」ボタンをクリックし、以下の画面が表示されたら、入力欄に購入したライセンスコードを入力し、「登録する」ボタンをクリックして登録を行って下さい。



- ライセンス登録が完了すると、「ライセンス登録」ボタンの表示が消え、タイトルバーの「体験版モード」の表示もなくなります。
- 本システムの詳しいドキュメント・活用事例等を <http://agrimo.jp> で公開していますのでご参照ください。